

令和7年度 指定管理施設の管理運営に関する月次評価について

施設所管課名：教育総務部生涯学習課

1 施設概要

施設名称	横須賀市生涯学習センター
指定管理者名	公益財団法人横須賀市生涯学習財団
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）

2 月次評価

評価月	評価
4月	【業務全般】 ・法令等を遵守し、誠実かつ、積極的に業務を行っている。 【執行体制】 ・全体として事務は滞りなく進められている。 【指定管理事業（センター管理運営事業）】 ・管理運営事業は滞りなく進められている。 ・4月24日の休館日に施設メンテナンスを実施し、独自に研修会を行うなど、施設保全と職員資質の向上に努めていると認める。 ・ウェルシティ市民プラザ空調設備の冷房切替作業が行われた（4月23日）。 ・パソコン研修室、ミーティングルームのパソコンでOffice起動時にサインインを求める画面が表示され使用ができなくなる不具合が発生したため、一時休室した（4月30日）。なお、保守事業者による対応で以降は復旧している。 【指定管理事業（市民大学事業）】 ・市民大学事業は、滞りなく進められているものと認める。 ・市民大学「さきがけ講座」全8講座を実施した。新規受講者獲得のため、新規講師、新規テーマを中心とした講座を揃え、応募件数のうち約14%の新規受講者を獲得した。また、前期講座につなぐため、前期講座と講師やテーマに同一性を持たせ、さきがけ講座内で講師から前期講座のPRを行い、積極的に前期講座の応募促進も図った。 ・4月22日に市民大学前期講座の募集を締め切った。応募総数は昨年度の2,382件を上回り、2,475件の応募を得た。定員未達の講座は引き続き追加募集を行っている。また、定員を超過した講座は定員を増員して対応するなど、受講希望者への配慮も行っている。さきがけ講座の際に行ったPRも効

	果を発揮した結果と考える。 ・4月3日に地元企業の協力を得て、ジュニアカレッジ「日産追浜工場調査隊」を実施した。アンケートでは「楽しかった」「また参加したい」と児童全員から好意的回答があり、地域の企業やその技術力に関心を持つきっかけとなったと考える。 ・市民大学講座は、令和4年度以来、引き続き多くの応募をいただいているが、様々な工夫や努力の積み重ねの結果が表れていると考える。市民ニーズを的確に捉えた講座を継続して実施していることを評価したい。 【指定管理事業(情報提供・学習相談事業)】 ・情報収集提供事業は滞りなく進められている。 ・「まなびかんニュース」5月号を発行した(10,000部)。 ・「Yokosuka まなび情報」登録講師・サークルの最新の登録情報を配布用小冊子として発信・提供する「Yokosuka まなび情報ミニ瓦版」を4月に作成・配架した。 ・2025年3月31日までに登録完了しているサークル341件、講師186人に対し、Yokosuka まなび情報の登録更新を案内し、併せて生涯学習センターが行う広報面での支援内容なども案内した。 【指定管理事業(学習成果地域活用事業)】 ・Yokosuka まなび情報登録サークル・講師を対象に4月25日からスキルアップ講座の先着募集を開始した。今回は、講師やサークルが安心・安全に活動を行うための支援として、AED・普通救命講習を企画した。学校や職場ではこのような講習を受ける機会があると思うが、私的に講習を受けるという方は多くはないと思われる。AEDを躊躇なく使えるようになったり、野外活動などで心肺蘇生や応急手当が必要になったりした際には講習を受けていれば対応できる可能性が高まるため、有益な内容であると評価したい。 ・市民ボランティアと生涯学習センター職員との講座の共同企画運営を今年度も継続し、4月17日にミーティングを行った。今後もミーティングを毎月1回程度行う予定である。令和4年度から継続している事業で、共同企画運営した講座を実際に市民大学特別講座として実施する。昨年度の実施講座は多くの受講者を集め、年々ボランティアの方の企画運営力が高まっているのを感じる。講座実施後に振り返りを行いながら継続していくことにより、反省点や改善点を反映させて、より良い形を生み出していると考える。引き続き適切なサポートによりボランティアの方の潜在力を引き出していただければと考える。 【その他の事業】 ・文化生涯学習事業助成申請の受付を開始した(4月1日～)。
--	---

	・組曲「横須賀」演奏会を開催した（文化振興課委託事業 4月13日） 【特記事項その他】 ・神奈川県立保健福祉大学の「ボランティア市民活動論」の講義に中間支援団体として参加・協力した（4月22日）。 ・逸見地区地域運営協議会へ参加した（4月22日）。 ・生成 AI 導入・活用に関するオンラインセミナーに職員が参加した（4月22日）。 ・市で行っている「いじめ反対」ピンクシャツデー運動に賛同し、ピンクシャツデーを実施した（4月30日）。 ・全市立学校・教育委員会合同防災訓練に参加した（4月30日）。 以上のとおり、執行体制、指定管理事業（センター管理運営事業、市民大学事業、情報収集提供事業、学習成果地域活用事業）、その他の事業、特記事項その他を勘案し、生涯学習センター指定管理業務は、適正かつ適切に行われていると評価する。
5月	【業務全般】 ・法令等を遵守し、誠実かつ積極的に業務を行っている。 【執行体制】 ・全体として事務は滞りなく進められている。 【指定管理事業（センター管理運営事業）】 ・管理運営事業は滞りなく進められている。 ・市「オフィススッキリ」に併せ、保存期間満了の廃棄文書を搬出した（5月29日）。 【指定管理事業（市民大学事業）】 ・市民大学事業は、滞りなく進められているものと認める。 ・5月中に、前期講座全24講座のうち17講座を開講した。 ・前期講座のうち定員に余裕のある11講座について、希望回のみ受講できる「おためし受講」対象講座とし、5月15日からホームページと館内チラシ配布により周知を開始した。 ・夏期特別講座及び小学生対象のジュニアカレッジを、防衛大学校（協力講座2講座）、神奈川県立保健福祉大学（共催講座3講座）、三浦学苑高等学校及び横須賀総合高等学校（ジュニアカレッジ協力講座3講座）の地域資源を積極的に活用して学社連携で企画している。ジュニアカレッジでは各校の高校生が講師役を務め、受講生の小学生を指導する。 ・上記のように社会教育のために地域資源である高等教育機関等の得意分野や専門性等をうまく活用し、講座に「横須賀らしさ」や「横須賀ならではの」

	という特色を出す努力や工夫を重ねていることを評価したい。また、ジュニアカレッジでは、高校生が小学生に「教える」という経験をするることになり、受講生の小学生だけでなく、同時に高校生も学ぶという工夫された仕組みとされていることを評価したい。 【指定管理事業(情報提供・学習相談事業)】 ・情報提供・学習相談事業は滞りなく進められている。 ・Yokosuka まなび情報の登録更新受付を5月23日に締切り、更新作業を行っている。 ・まなびかんニュース6月号を発行した(10,000部)。 【指定管理事業(学習成果地域活用事業)】 ・市民ボランティアと生涯学習センター職員の講座共同企画・運営を今年度も継続して行う。講座数は昨年度と同じく3講座を予定している。令和4年度以来継続しており、回を重ねるごとに今までの経験が生かされ、年々ステップアップしている。今期も引き続き適切な支援のもと、市民ボランティアの育成をお願いしたい。 【その他の事業】 ・春季市民文化祭を開催した(5月23日から27日 文化振興課委託事業)。 【特記事項その他】 ・市民活動サポートセンター、生涯学習センター、よこすかボランティアセンター、シルバー人材センターによる4施設会議に参加した(5月13日)。 ・(公財)横須賀市生涯学習財団業務監査チェックシートにより、令和6年度事業及び決算について内部監査を行った(5月14日)。 ・令和6年度決算監査を行った(5月22日)。適正な予算及び事業執行のための対応に努めていることを認める。 ・横須賀文化協会総会・懇親会に参加した(5月26日)。 ・逸見地区地域運営協議会会議へ職員が出席した(5月27日)。 ・ウェルシティー時預かり保育室避難訓練に参加した(5月28日)。 以上のとおり、執行体制、指定管理事業(センター管理運営事業、市民大学事業、情報収集提供事業、学習成果地域活用事業)、その他の事業、特記事項その他を勘案し、生涯学習センター指定管理業務は、適正かつ適切に行われていると評価する。
6月	【業務全般】 ・法令等を遵守し、誠実かつ、積極的に業務を行っている。 【執行体制】 ・全体として事務は滞りなく進められている。

	・センター休館日に独自に研修会を行うなど、職員の資質向上に努めている。 ・図書室新任者研修に職員が参加した。 【指定管理事業（センター管理運営事業）】 ・管理運営事業は滞りなく進められている。 ・臨時休館日に、施設のメンテナンス及び備品の確認を行った。市民が利用しやすい環境を整えているものと認める。 【指定管理事業（市民大学事業）】 ・市民大学事業は、滞りなく進められているものと認める。 ・6月中に前期講座全24講座のうち22講座が開講した。 ・「よこすかジュニアカレッジ」3講座の募集を6月9日から開始した。 ・夏期特別講座8講座の募集を6月25日から開始した。 ・今年度は昭和100年、戦後80年の節目であり、図書館、博物館、教育研究所で特別企画「昭和100年めぐり」を実施するのに合わせ、市民大学でも前期講座「昭和100年・戦後80年 激動の時代を振り返る」（6月1日）を実施した。また、夏期特別講座でも「横須賀の歩んだ昭和」の募集を開始した。社会教育施設間の連携・協力に努めていることを認める。 【指定管理事業（情報提供・学習相談事業）】 ・情報提供・学習相談事業は滞りなく進められている。 ・Yokosuka まなび情報2025年度への登録更新を完了した。 ・まなびかんニュース7月号を発行した（10,000部）。 【指定管理事業（学習成果地域活用事業）】 ・学習成果地域活用事業は滞りなく進められている。 ・Yokosuka まなび情報登録サークル、講師を対象とした「スキルアップ講座」で、消防局救急課職員を講師としてAED・普通救命講習を6月12日に実施した。大切な内容だが、あえて機会を設けないと受講に結びつかず、サークル活動等でいざというときに役立つものであるため、有用な機会であると認める。 ・今年度は、隔年で実施している、Yokosuka まなび情報登録講師等が、自身で実際に講座を企画運営して講師デビューすることを支援する「ABCプラン」の実施年である。講師デビューを考えている方への「A研修会」の申込み受付を開始した。「ABCプラン」をきっかけに定期的に講座を開催するようになり、サークルが発足する事例もあり、学んだ成果の活用と学習活動の継続につながる機会であるため、今年度も期待したい。 ・講座企画・運営を行う市民ボランティアと指定管理者との市民大学講座共同企画運営が継続している、今年度は2月から3月にかけて3講座、うち1講座をコミュニティセンターを会場として開催予定というところまで固ま
--	--

	ってきた。市民ボランティアが経験を積んでいくのと同時に、市民ニーズが直接把握できる機会でもあるため、今後も長く継続していただきたい。 【その他の事業】 ・人権セミナーを生涯学習課と共催で実施した（6月5日、9日、20日）。 ・「パソコン入門教室」を開催した（基礎コース6月9日～12日、ステップアップコース6月30日～7月3日）。 ・第48回市民音楽のつどいを実施した（6月8日 文化振興課受託事業）。 【特記事項】 ・第1回理事会を開催した（6月3日）。 ・社会教育実習生2名との面談を行った（6月13日）。 ・逸見地区地域運営協議会 事務局会議へ参加した（6月24日）。 ・定時評議員会を開催した（6月24日）。 ・市で行っている「いじめ反対」ピンクシャツデー運動にあわせ、ピンクシャツデーを実施した（6月25日）。 以上のとおり、執行体制、指定管理事業（センター管理運営事業、市民大学事業、情報収集提供事業、学習成果地域活用事業）、その他の事業、特記事項その他を勘案し、生涯学習センター指定管理業務は、適正かつ適切に行われていると評価する。
7月	【業務全般】 ・法令等を遵守し、誠実かつ、積極的に業務を行っている。 【執行体制】 ・全体として事務は滞りなく進められている。 ・神奈川県立図書館主催の生涯学習指導者研修の「社会教育担当者コース」、「公民館担当者コース」に職員が参加した。職員の資質向上に努めていると認める。 【指定管理事業（センター管理運営事業）】 ・管理運営事業は滞りなく進められている。 ・今年度も夏休み期間に、当日利用のない学習室を自習室として開放する。期間は7月22日（火）から8月26日（火）まで。施設の有効活用に資すると認める。 【指定管理事業（市民大学事業）】 ・市民大学事業は、滞りなく進められているものと認める。 ・前期講座全24講座のうち、7月までに23講座が開講した。

	・7月9日に小学生を対象とした「よこすかジュニアカレッジ」の募集を締め切り、全3講座を7月24、28、29日にかけて実施した。市立横須賀総合高校、私立三浦学苑高校の協力を得て、高校生が講師を務め、受講者の小学生だけでなく、高校生も学びの機会となるように相互学習効果を見込んでいる。地域の教育資源を活用して、若い世代への取り組みを意欲的に行っていることを評価したい。 ・夏期特別講座（全8講座）を募集中（応募締切8月3日）である。 【指定管理事業(情報提供・学習相談事業)】 ・情報収集提供事業は滞りなく進められている。 ・Yokosukaまなび情報 2025 年度瓦版を発行し、行政センターやコミュニティセンターを訪問し、まなび情報の周知と配架協力の依頼を行った。併せてまなびかんの宣伝のため、コミュニティセンターの文化祭日程の確認と展示等の協力を依頼した。双方の施設にメリットがあるようコミュニティセンターとの協力関係を維持していただきたい。 ・まなびかんニュース8月号を発行した（10,500部）。 ・5階展示スペースで、ABCプランCデビュー講座をきっかけに発足した「愛するペットの絵を描こう！リアル色鉛筆教室」の活動成果物である作品を展示中である（7月5日から8月16日まで）。 【指定管理事業（学習成果地域活用事業）】 ・学習成果地域活用事業は滞りなく進められている。 ・自身が学んだ成果を地域で活用するための方法として、自らが講師となって講座を企画・運営するという具体的な支援を行う、Yokosuka まなび情報登録講師「ABCプラン」のA研修会を実施した。28名の応募者中24名の参加があり、この後、Yokosuka まなび情報に講師として登録をした方と既に登録済みの方のうち、希望者は、実際に自分の企画した講座をプレゼンして相互評価を行うBデモ講座という次の段階に進み、最終的にCデビュー講座という実際に受講生を募集して講師として講座を運営する。第5期指定管理で隔年で実施しており、実際に講師活動を継続したり、サークル化して活動を継続したりという事例がある。活動できるひとづくり、活動できるつながりづくりのきっかけともなっているため、今後とも継続していただきたい貴重な講座である。 ・市民大学企画運営ボランティアと財団職員での第3回の講座共同企画ミーティングを実施した。メンバーから10講座の企画案が提出され、今後この案を中心に、2月、3月の市民大学講座としての開講に向けてミーティングを重ねていく。令和4年度の「受けたい講座をみんなでつくろう」の受講者が講座後も講座企画ボランティアとして活動を継続し、回を重ねるごとに多
--	---

	くの参加者を集める講座を企画している。また、その経験を共有して次回に生かしており、着実にスキルアップしていることがうかがえる。講座企画運営ボランティアに対する適切な支援を継続していると評価したい。 【その他の事業】 ・人権啓発講座「子どもと人権」を実施した（生涯学習課共催事業 7 月 8 日、22 日） ・秋季市民文化祭（文化振興課委託事業）の「三浦半島演劇祭ワークショップ」を開催（7 月 19 日、20 日）し、公募部門作品「短歌・俳句・川柳」、市民将棋大会、市民民謡のつどいの作品及び参加者の募集を開始した。 【特記事項その他】 ・横須賀三浦パートナーシップ実行委員会第 2 回実行委員会に職員が出席した。 ・カムチャツカ半島付近を震源とする地震による津波警報（三浦半島、相模湾）及び津波注意報（東京湾内湾）が発令されたため、情報収集を行い、生涯学習課からの指示により生涯学習センターを途中休館とした。（7 月 30 日）。 以上のとおり、執行体制、指定管理事業（センター管理運営事業、市民大学事業、情報収集提供事業、学習成果地域活用事業）、その他の事業、特記事項その他を勘案し、生涯学習センター指定管理業務は、適正かつ適切に行われていると評価する。
8 月	【業務全般】 ・法令等を遵守し、誠実かつ、積極的に業務を行っている。 【執行体制】 ・全体として事務は滞りなく進められている。 ・センター休館日に独自に研修会を行うなど、職員の資質向上に努めていることを認める。 【指定管理事業（センター管理運営事業）】 ・管理運営事業は滞りなく進められている。 ・臨時休館日に、施設のメンテナンス及び備品の確認を行った。市民が利用しやすい環境を整えているものと認める。 ・学校の長期休暇に合わせて、当日利用のない学習室を 7 月 22 日から 8 月 26 日の期間開放した（開放期間 36 日、利用人数 646 人）。 ・職員が「TeamRise 文書管理システム Web 説明会」へ参加した。非営利法人のデジタルでの文書管理に特化したシステムに関する内容で、事務処理効率化について積極的に情報収集していると考ええる。

	【指定管理事業（市民大学事業）】 ・市民大学事業は、滞りなく進められているものと認める。 ・前期講座全 24 講座のうち、23 講座が 8 月までに開講している。 ・8 月に夏期特別講座全 8 講座のうち 3 講座を実施した。講座の開始前や休憩中の時間を利用し、募集中の後期講座の商業スライドの投影や募集要領を配布し、講座のアピールと応募促進に努めた。今期も市民大学講座は多くの応募があるが、このような積極的な方法も功を奏してのことと考える。 ・後期講座の募集を 8 月 22 日から開始した。なお、開講時期は 10 月中旬以降。 【指定管理事業(情報提供・学習相談事業)】 ・情報収集提供事業は滞りなく進められている。 ・登録更新後、最初の「Yokosuka まなび情報ミニ瓦版」を発行した。市内の公共施設に加え、小、中、高校（私立学校を含む）の学校長と PTA あてにも送付した。 ・まなびかんニュース 9 月号（10,500 部）を発行した。 ・ABC プランがきっかけで発足し、活動継続中の「リアル色鉛筆教室」の作品を展示スペースを利用して展示した（7 月 5 日～8 月 16 日）。見学希望等多数の問い合わせがあり、サークルの拡大につながっている。コロナ禍以降、サークル等の活動が低調となっている状況があったが、学習成果の展示によって学びたい方にアピールし、活性化につながった有効な事例と考える。今後もこのような効果を発揮することを期待したい。 ・市建設部自然環境・河川課の依頼により、展示スペースを利用して「横須賀いきもの調査隊調査結果 2025 春」の展示を行っている（8 月 18 日～9 月 29 日）。市民の学習成果発表の場を提供し、広く活動内容を周知することに寄与していると考え。教育委員会以外の部署でも社会教育に関する内容を取り扱うことが増え、市民が主体となっている活動があるため、今後も機会を捉えて周知に協力いただきたい。 【指定管理事業（学習成果地域活用事業）】 ・学習成果地域活用事業は滞りなく進められている。 ・市民自らが講座企画・運営を行って講座講師としてデビューするのを支援する ABC プランの「A 研修会」を 7 月 26 日に実施した。次の段階である、実施したい講座概要のプレゼンテーションを行う「B デモ講座」15 名の参加申し込みがあった。うち 6 名は Yokosuka まなび情報登録講師だが、9 名は新規の方であり、学んだことを活かしたいが、どのようにして良いかが分からないという方には、講座講師として活動を始めるとするのは具体的で取りつき
--	---

	やすい方法と考える。また、サークル化への支援も行っており、学習活動の継続性や発展性も備えた工夫された仕組みと考える。 ・講座企画運営市民ボランティアと生涯学習センター職員の講座共同企画・運営ミーティングを行った。前回のミーティングで出た 10 の講座企画案を、「どうしたら子どもの自己主張を育むことができるか」、「横須賀の暗渠 坂の多いまち」、「江戸に狂歌の花咲かすー大田南畝」の 3 つ（現段階で講座名は仮称）に絞り込み、講師選定等を行っていく。課題解決、郷土、教養とバランスを考えて異なった分野になるよう練られたと思われる。市民ボランティアの方の経験の積み重ねが生かされていると考えられ、「継続は力なり」ということが現れている。 ・今年度実施の「まなびかんまつり」の企画案を練り、実施に向けた準備を進めている。「まなびかんまつり」は多くの来館者があり、市民の学習成果を楽しみながら目にすることができる貴重な機会であるため、今年度も多くの方にアピールすることを期待したい。 【その他の事業】 ・人権啓発講座「夏休み！子ども映画会（NAGASAKI1945 アンゼラスの鐘）」を実施した。（生涯学習課共催事業） ・令和 7 年度文化及び生涯学習事業助成審査委員会を開催し、12 件の助成を決定した。 【特記事項その他】 ・市で行っている「いじめ反対」ピンクシャツデー運動に賛同し、当日はピンク色のものを職員が身に着け、運動に参加した。（8 月 27 日） ・社会教育実習生を受け入れを行い、実習を行った（8 月 1 日、6 日 実習期間は 8 月 1 日～9 月 30 日で、受け入れ先は社会教育施設等複数）。 以上のとおり、執行体制、指定管理事業（センター管理運営事業、市民大学事業、情報収集提供事業、学習成果地域活用事業）、その他の事業、特記事項その他を勘案し、生涯学習センター指定管理業務は、適正かつ適切に行われていると評価する。
9 月	【業務全般】 ・法令等を遵守し、誠実かつ、積極的に業務を行っている。 【執行体制】 ・全体として事務は滞りなく進められている。 ・職員 1 名が退職したため、契約職員 1 名を新規に採用した。 ・リコージャパン主催の「生成 AI による DX 加速」ウェビナーに職員が参加した（9 月 17 日）

	【指定管理事業（センター管理運営事業）】 ・管理運営事業は滞りなく進められている。 ・9月7日から断続的に音楽室天井から水滴が落ちてくるため、利用者への注意喚起とウェルシティ施設全体の管理所管課である健康総務課に報告した。 【指定管理事業（市民大学事業）】 ・市民大学事業は、滞りなく進められているものと認める。 ・夏期特別講座のうち5講座を9月中に実施し、予定の8講座全てを実施した。また、講座開講前や休憩時間を利用して募集中の後期講座応募促進を行った。 ・タウンニュース9月5日号に後期講座の記事を有料掲載した。 ・後期講座の募集を9月23日に締め切った。23講座中7講座で定員超えの応募があり、全講座の総募集定員2,210人に対し総応募数2,057件で、総応募数/総募集定員の比率は約93%であった。定員未達講座は追加募集を継続している。前期講座に引き続き多くの応募があり、市民が受講したくなる講座を企画していること、現受講者への次期講座の周知やタウンニュース有料記事による講座周知などの工夫の結果が表れたものとする。 【指定管理事業（情報提供・学習相談事業）】 ・情報提供・学習相談事業は滞りなく進められている。 ・まなびかんニュース10月号を発行した（10,500部）。 ・展示スペースを利用して、「横須賀いきもの調査隊調査結果2025春」の展示を、前月8月18日（月）から引き続き9月29日（月）まで行った。調査を行ったのは子どもたちで、発見したいいきものについて博物館の学芸員のコメントも付された、子どもたちの学習成果の展示である。 【指定管理事業（学習成果地域活用事業）】 ・学習成果地域活用事業は滞りなく進められている。 ・市民が講師として実際に講座を企画・運営し、学習成果を活用するのを支援するYokosuka まなび情報登録講師「ABC」プランのBデモ講座を9月19日（金）、20日（土）に実施し、両日で15名の市民等が参加した。市外からの参加者もあり、その中の1人のはなしでは、自身の地元自治体ではこのような取り組みがなく、神奈川県内でもあまり例がない取り組みで、インターネット等で情報収集したところ手厚い支援が受けられるというクチコミ情報もあったため参加したということだった。市外でも実際的な方法で学習成果活用支援を行う取り組みとして評価されていることが分かった。また、実際に講座を開催するCデビュー講座へはBデモ講座修了者15名中12名が申し込みをした。
--	--

・市民大学講座企画運営ボランティアと職員との共同企画ミーティングを行った。次の3講座を予定し、講座内容と講師を選定した。今後は実施にむけて開催日や会場の調整を進める。 ①「どうしたら子どもの自己主張を育むことができるか（仮称）」佐藤淑子氏（鎌倉女子大学教授） ②「横須賀の暗渠（坂の多いまち（仮称）」）亀井泰治氏（横須賀市自然・人文博物館） ③「江戸に狂歌の花咲かすー大田南畝（仮称）」小林ふみ子氏（法政大学文学部教授） ・隔年実施で今年度が実施年にあたる「まなびかんまつり」の参加団体の募集を開始した。例年、数千人の方が訪れ、市民の学習活動の成果とともに、まなびかんの存在や活動内容を広く知っていただける機会のため、多くの方が来館することを期待している。 【その他の事業】 ・第56回ウェルシティ・コンサートを開催した。 ・「まなびかんスマホ体験教室」を実施した。指定管理事業ではないが、デジタルデバイドの問題を意識し、継続して行っている。 ・秋季市民文化祭の市民囲碁大会の募集を開始し、市民将棋大会、公募部門作品「短歌・俳句・川柳」の受付を終了した。また、三浦半島演劇祭「劇団蒼い群」公演を実施した。 【特記事項】 ・社会教育実習生の受入れを行った（9月12日、20日） ・逸見地域運営協議会主催の桜針フェスタ2025の運営に職員が協力した。 ・逸見地区地域運営協議会へ職員が参加した。 ・11月29日開催予定の企業・NPO・学校パートナーシップミーティング2025in横須賀三浦「海が好き！！～三浦半島の海の未来をつなぐ～」の主催である横須賀三浦パートナーシップ実行委員会に参加した。 以上のとおり、執行体制、指定管理事業（センター管理運営事業、市民大学事業、情報収集提供事業、学習成果地域活用事業）、その他の事業、特記事項その他を勘案し、生涯学習センター指定管理業務は、適正かつ適切に行われていると評価する。
